

ご協力のお願い！！

被災地からガレキ・・・北海道が放射能で汚染される可能性が！

高橋はるみ知事は道として岩手県からのガレキの受け入れを検討していることを明らかにし、同県から正式な要請があれば、前向きに取り組む考えを示しました。日本の食の安全、北海道の美しい環境の保全、そして子どもたちの未来のために北海道におけるガレキの受け入れおよび焼却処理の反対にご協力をお願いします。

汚染されていない被災地のガレキがあると思いますか？

放射性物質の累積降下量 (4/19~5/7) 単位~MBq/km²

	ヨウ素 131	セシウム137	セシウム134
北海道 (札幌市)	2.6	2.3	0
岩手県 (盛岡市)	8216.3	832.1	118.2
福島県 (福島市)	24151.3	2800.0	400.7

文科省発表の放射性物質の累積降下量 (左表参照) によると岩手県・福島県は北海道の**数百倍~数万倍**となっています。(宮城県では計測すらされていません) 今現在も福島第一原発より放射性物質が常に放出され続けています。

- ・放射性物質は焼却しても消えず、煙とともに焼却場から近隣地域に広がります。
- ・通常の廃棄物同様の処理がなされると土地・河川および地下水の汚染の可能性が考えられます。
- ・処理作業中に放射性物質が飛散し近隣住民及び作業員は被ばくする可能性があります。

ガレキは現地で適切に処理されることが日本全体の汚染を最小限に食い止める方法です

北海道へガレキが運ばれてきたら・・・

北海道の自然豊かでクリーンなイメージが崩壊

観光客が激減し観光業界に打撃
道産品が売れなくなり農業・酪農にも大きな影響
それにともない北海道全体の経済が下降する
被災地の支援すらできなくなってしまいます



子どもは放射能の影響を受けやすい

住民への健康被害はもちろん、
子ども達~赤ちゃん・胎児への影響ははかりしれません。
子ども達の未来のために美しい北海道の大地を守りましょう！

今できること～行政へ私達の声を届けましょう！

北海道庁 総合政策部知事室道政相談センター 道政相談窓口

011-204-5022

被災地のガレキを受け入れないように伝えて下さい！

ここに
TEL!